六甲山で
グルーム五十回忌

★カメラルポ

さる四月二十六日の昼すぎ、六甲の三国池近くにあるグルーム地蔵前から、日蓮宗のうちわ太鼓にのって、おごそかな読経がひびいた。

六甲を愛し、六甲を開いた六甲の父、英人アーサー・H・グルーム氏が逝って、もう五十年になる。この日はその五十回忌の法要が開かれた。

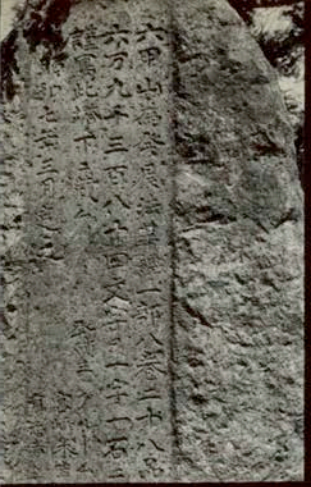
式にはグルーム氏の末娘にあたる岸りうさん(七二)と十一人の孫たち。宮崎神戸市助役をはじめ、ゴルフ関係者、六甲福祉会(六甲の住民)、知人など約二百名が参列しておこなわれた。

グルーム氏は明治元年に来日。居留地に住んでお茶の貿易を営んだ。その後日本人女性を妻にして九人のこどもを育てた。同二十八年ごろ、六甲へ好きな狩猟にでかけ、山頂からのすばらしい展望に心を奪われたことがきっかけとなって、三国池付近に別荘を建て山上生活をはじめるようになった。自分で別荘を建てては仲間の外人にゆずり、明治末期までには山荘の数は五十数戸にまでなった。

グルーム氏が住んだ別荘は一〇一番邸。今もそれを示す石標が、三国池ほとりに残っている。

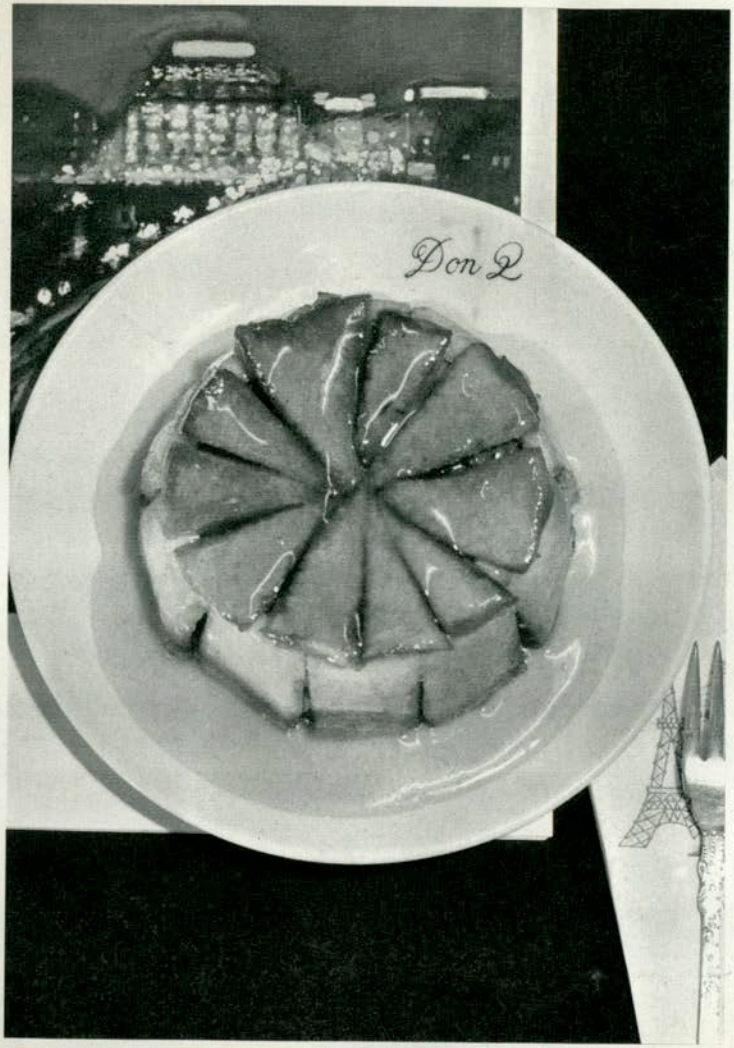
世界では六番目、日本ではじめてのゴルフ場、神戸ゴルフ倶楽部を開設したのもグルーム氏。現在のゴルフ隆盛の祖となっている。

グルーム氏のこどもたちでたった一人残った岸りうさんは「父はやさしい人でした。山荘で働いていたコックやボーイさんも25年、30年と勤続したことでもわかります。山上から



かごをつくって居留地の会社まで通ったほど、六甲の生活を愛した人でした。数多いこどものなかで私の誕生日だけは忘れず、山からケーキを送ってくれたことを今でも忘れられません。最近、六甲も開けすぎて汚れてきました。六甲を愛した父のためにもできるだけ俗化を防ぎ、自然のままの森をいつまでも残してほしいものです。」と話す目には遠く父グルーム氏の面影がうつっているかのようにみえた。

グルーム氏をしのぶうちわ太鼓の音は六甲の山々に深く静かにこだましていった。



DONQ

フランス菓子 コーナー

6月

シャルロット・ド・ポンム
Charlotte de pommes

★作り方

①食パンの皮の部分を切り取り、厚み2cmぐらいにして、タンバール型の内側と底にはりつけられるように切り、バターをドロドロにしたものにパンをしたして、タンバールの内側と底にはりつけます。

②リンゴの皮をむき、六つ切りにして芯をとり、さらに横に薄く切って、フライパンでバターいためをします。

③バニラで味をつけた後、ラム酒をたっぷりかけ、火をつけてラム酒のアルコール分をとばします。

④焼き上げたリンゴを、パンをはりつけた型の中につめて、オーブンで焼きます(170℃で15分)。

⑤客に供すときは、型から抜き出し底の部分を上にして皿に盛り、アプリコット・ソースを上からかけて仕上げます。

★アプリコット・ソースの作り方

アンズを砂糖で煮て裏ごしにし、適当にシロップでゆるめます。

フランス菓子 ドンク

本店　三宮センター街　TEL (39) 5481～4
さんちかメイゾンドンク　TEL (39) 4879
芦屋店　TEL (2) 5137
サンドウイッチバーラー　TEL (39) 5485
フランスパンコーナー　TEL (39) 4985
須磨寺店　TEL (71) 8752
ドンク東京〈400〉9151　東京・北青山
千里山店　千里ニュータウン

＊ドンクすずらん会では毎月フランスケーキの作り方をお教えしています。気軽るくご入会ください。

神戸新景―

新六甲大橋

さわやかな風を切って、素晴しいハイウエイをドライブ。六甲の山ふところに近づき、その美しい姿と一体になるころ、前方にあざやかなパイプアーチの橋が迫る。これが新六甲大橋である。まわりの燃えるような新緑に包まれて、赤、青、白にいろどられたループ橋は、青空にかかる虹の橋のよう。鶴甲団地をぬけた六甲ケーブル土橋駅前からはじまるこのドライブウェイ・六甲有料道路は、四月一日開通したばかり。

自動車専用では日本第三位という六甲山トンネルも、この新六甲大橋をわたったすぐむこう。全長約三㌔にわたるトンネルの中は、サナトリュームランプに照らされて黄色く、出口ははるかかなたにかすんで見える。五～六分でトンネルをぬけると裏六甲ドライブウエイ。

観光と産業ルートを兼ねた六甲有料道路は、今、本格的に息づきはじめている。

〈カメラ・緒方しげを〉

6月

グリーンを着る

福富芳美
〈服飾デザイナー〉

みどりが美しい季節。
街を行く女性が、さわやかな
夏の装いに変ると
神戸の街は一度にカラフルに
なります。
今月はエメラルドグリーンの
シャープなタッチの
ワンピースをご紹介しましょう。
ビケの布地で、
衿は太い縁どりの衿。
ラグランカットの短かい袖。
ポケットがアクセントになった
ややハイウエストのAラインの
シルエットです。
白い靴、白い靴下、
白いアクセサリー
すべてがグリーンをひきたて
クールな夏を迎える
神戸っ子にふさわしい
ワンピースです。

＊6月のマドモアゼルは
渕岡令子さん（19才）
武庫川高校を卒業して
神戸ドレスメーカー女学院に入って2年目という洋裁の好きな女性。
5年前までは東京にいたけれど神戸に移ってから、もうこの地を離れたくないという神戸っ子。
特に須磨が気にいっているとか……。
紺系統と白系統が好きだという渕岡さんは
清潔なやさしい感じが漂よう
お嬢さんです。

Beniya ℬ

SUMMER MODE

青い青い須磨の海
ベニヤのカラフルな
水着の楽しさが
ごきげんな
シーズンです

ベニヤ

三宮センター街　PHONE 39：5529
さんちか(レディスタウン)　PHONE 39：1204
(サンキュウイイフク)

●新しい町づくり●
連続座談会第1回

元町パネルディスカッション

元町の未来図を描いて

出席者

●神戸のショッピングストリート三宮・元町地区の現況と未来図を、アイディアを出される先生方とお店の人たちとの話しあいのなかから、新しいユニークな神戸の町独自の町づくりの提案を座談会のなかから生みだしてゆこうという企画です。

〈次回は10月号でトア・ロードをとりあげます〉

★都心はますます東へ移動

――今日は、これからの元町というテーマでお話をお伺いしたいと思います。最初は、現在の元町がかかえている問題点やこれからの計画などお聞きしたいと思います。その後で、先生方からアドバイスしていただくということでお願いします。

大上 何しろ激動中の神戸ですので都市計画が終るまでは、どうもやりにくいのではないかといいながらやってきたのですが、現在、考えていますのは、いろんな交通機関の結びつきですね。元町は町並が長く、東は元町駅を中心として中は中突堤と花隈を中心に、西は神戸駅に連なると考えてはどうか。そして究極には一本化していこうという考え方を基本にしておりますが、ややもすると、元町は道路が広すぎるんじゃないか、道路上にこういう付帯設備をしようといって、私たちの目前の利益につながることをやってきたわけです。

鳥越 元町は環境的にはよい要素をもちながら、現在、斜陽化している。ご承知のように、神戸は都心がだんだん東に移りつつあって昔は元町が中心だったわけですが、それがこの間までは大丸周辺だったのが、今ではもう東のダイ

新谷秀雄氏

米花　稔氏

水谷顕介氏

エーからサンチカにかけてがショッピングの中心地となっています。ますます元町は場末化してきた感じで、これでいいのかという気がするわけです。ところが、本当にこの声が出たのは、昭和三十二年に中高層建築化の案があって、一時的な反省があったわけです。ところが、その中高層建築が、この間の市の話では、センター街を中心にできつつあるという。するとますますショッピング街としての元町はとり残されるんじゃないかと思うわけなんです。

近藤　元町は若い人たちにソッポを向かれているということです。というのは、そういう人たちに向いた商品を売っているお店が少ないということなんです。その他元町は道巾が広すぎるために片側しかウィンドーショッピングを楽しむことができない。センター街の場合ですと、歩いていて両側のウィンドーを楽しむことができるということが若い人を引きつけた一つであると思います。それから商品構成から見た場合、洋品店のような、若い人がひやかして楽しむソフトな感じの店が少ないということです。

★戦前の元町に復元しよう！

安達　元町がなぜさびれてきたかといいますと、昔の人が思っていた元町と現在の元町が、あまりにもその差が大きすぎるということです。その差というのは、昔は元町にいけば変ったもの、いいものがあるというイメージをみんな持っていた。ところが商品がダブつき出してから、どこに行ってもどんな商品でも売られるようになった。だから、便利なところで買えば同じことじゃないかという風にお客さんの方でなってしまったということなんです。それと昔は元町にはどこにもないような舶来品が町並に並んでいて、それだけを買う目的のお客がかなりあった。その資本力の差というか、現在は、逆に大阪、東京より舶来品も数少なくなっている。本来の神戸らしい特色いわゆる唐物的とかバタくさい町というイメージがなくなってきたと思うんです。

美田　戦前はセンター街はなかったが、湊川にも板宿にも水道筋にも商店街はあったのです。ところが、だんぜん元町には特長があった。今後どういう方針でやっていくかというと、私は、戦前の元町の姿に返したいという気持でいっぱいです。しかしこれも、元町を構成している各店の格差が大きすぎるために、一挙にはできないと思いますけど、とにかく戦前は、足並がそろっていた。スズラン灯にしましても一丁目から六丁目まで、ズラッと出来たものなんです。私はやはり、周辺の商店街と同じような姿でいくのか、戦前のように特色をもった元町に復興さ

すのかということが根本だと思いますね。その辺から元町をどんな風にやっていくのか、イメージをはっきり打ち出していかなければならないのではないかと思います

★これからの商店街の問題は機能、施設の両面を考えよう

米花　商店街の問題は、従来とちがってきたことは、商売というファンクションつまり機能の面とそれを実際に扱う施設の面との両方が非常にかわってきていることだと思います。今までの商店街というのは、自然発生的にできて、それを集団としてつかまえファンクションの面で共同化していったり、若干手直ししたりということだったと思います。ところが今の商店街の問題というのは、商売自体のやり方とか構造とか構成だけでなく、その商店街の施設の方からも考えていかねばならない。最近、ペデスシャン・プリンシプルということが強調されるようになった。たまたま関西には、歩行者専用の商店街がちゃんとあるわけですけど交通の危険も何もないところで、楽しくショッピングができるように、非常に計画的につくられている。そういう施設が自然発生的なものよりも、はじめから計画的にしかも交通機関だとか都市改造といっしょに、それとうまく組み合わせてやっていくというやり方がふえているわけです。だから現在の問題として、一方には元町の商店街の商店の構成とか、商売本来のマーケットを、どの質のものをどこでどの程度確保できるかということの長期の見通しとそれを実際に扱う元町をどういう格好にしていくかということの、両方を計画的にやっていかなければならない。それから、ペデスシャン・プリンシプルといわれるような、非常に安全に楽しく、散歩をしながら買物できるような、そういう一つのつくり方を頭におかなければならないでしょうね。その中でどうしたら元町らしさを出すことができるだろうかということですが、商品のきわめて簡単な分け方で、スペシャリティグッズとショッピンググッズ、コンビニエンスグッズの三つがあります。が元町は、ショッピンググッズとスペシャリティグッズ、というより、ねらいはスペシャリティグッズでなくてはならないと思います。阪神地方からも東京からも買いにやってくるんだという……。その元町の元町らしさとか、元町のイメージという場合にも商売の内容とそこにつくられるフィジカルな施設のあり方と、その両方からつかんでいかなければならないと思うわけです。

美田真治氏

大上福太郎氏

鳥越　浩氏

★高いレベルのデザインを

新谷　さっき、美田さんが、元町を戦前にもどしたいといわれま

したが、これについて私の意見は、私は神戸に住みついて三十六年、戦前のイメージというのは、非常に詩情豊かな一つのノスタルジアが、我々の世代にはあるんですね。しかしそれをそのまま再現したところで、それが若い人たちにアピールするかというと、それは問題だと思います。そういう郷愁は過去のものとして、これからの元町というものは新らしく再現しなければならない。それならばどうすればいいかというと、まずアーケードをとれというんです。冒険に近いような意見かもしれませんけど、アーケードなんてミラノのドームのように造型的に美しいものなら、いいですけど、とってつけたみたいで……。アーケードがはやりだからやるというのではなく、もっとプライドをもってほしかったですね。

水谷　ぼくもああいうアーケードならマイナスだと思いますね、デザインがよくない。

米花　雨の日など恩恵はうけてますけど。

新谷　低すぎるんですね。アーケードがあるために、せっかくの老舗をほこる店のカラーを出しきれなくて、特色がなくなった。

安達　アーケードの時に、もめましたね。若い世代のアイディアを聞かれていろいろ出ましたが、結局おちついたところがあれなんですヨ。

安達昭三氏

近藤常正氏

美田　予算の面で、どうしても。

水谷　商店街の街ぐるみの建てかえの場合、いわゆる中高層融資という方式にも関係があるわけです。今、中高層をやったら、よっぽど資本を投じないといいものはできない。ヘタなコンクリートの建築で固定するよりむしろ元町のもっている明かるいよさを生かして、いい舗装にするとか、緑を入れるとか、駐車場を確保するとかが大事ですね。だから今はダメだが、二十年後にはいい形のものができるんだということにしなければいけない。それではちょっとイメージ不足だといわれれば、シンボル操作をすればよいわけで、例えば、元町の豊かな将来のイメージの模型をおいて、将来、元町はこういう風になるんだ。現在はそこに向って段階的にアプローチしているんだ、というイメージを与えることでもいいと思いますね。模型だとかグラフィックデザインとか、そういう簡単なものをうまく使った方がいい。例えば、元町の角々に、豪華船の模型をズラッときれいに並べるとか……。お金をかけないで知恵を使った方がいいし、一流のデザイナーを使った方がいい。

★日本全体の中で
元町独自のイメージを

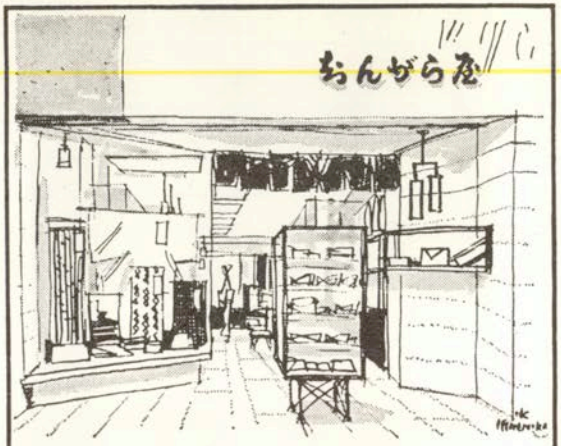
水谷　元町の基本的なイメージというのが一番大切なことだと思うのですけれど、その場合に、元町というものを、神戸の商店街としての概念で考えるのか、関西全体あるいは日本全体の中で、元町を考えるのか、という視野の広さが問題になってくると思うのです。私はやっぱり日本全体の中で元町を考えたい。そうでなければ元町のもっているカラーは生かしていけない。近々、山陽新幹線もつき

宝石
貴金属
時計

仲庭

さんちかタウン　(39) 4593
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
桜　橋 毎日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西　店／三宮センター街・電話３３—８８３６（代）
東　店／三宮センター街・電話３３—０６２９
三宮店／さんちかタウン・電話３９—４３０３

東京

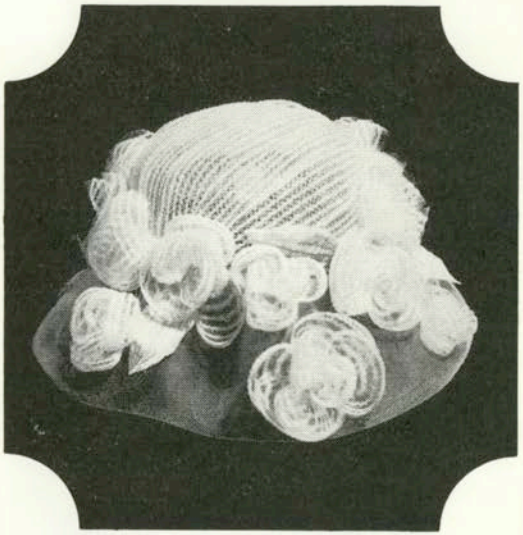
銀座北店／銀座並木通り・電話573—５２９８（代）
銀座南店／銀座並木通り・電話572—４８４７
（京阪神銀座タウン）

神戸っ子のセンスを生かす

＊服飾 KEI の店

生田区三宮町三丁目五七
大丸前服部宝生眼鏡店二階
TEL 三三・七五五〇

クールな夏の
おしゃれシャポー



婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード　TEL 神戸33－6711－3
東京・銀座３－２　TEL 東京 535－5041

ますし、これからは東京だけが相手じゃなく、西日本全体も神戸の商圏に入ってくるでしょう——ところでどうすればいいかというと、やはり元町のゆったりした感じを大事にしなければいけない。例えばセンター街は、あれ以上混んだら商店街としてマイナス面がでてきますからね。

米花　おっしゃるとおり、外国にも、日本にもどこにもないというか、よそと同じようなものでない行き方をしないことには……。

新谷　だから元町の場合、他都市を参考にするというのじゃなく、独自のものをつくってほしいですね。元町にはそれだけの要素があるんですね。すぐ市電があり海岸線が走り、山手にも近い。それから中心が向こうにできるわけですから、郊外の電車とも接点となるわけで、元町は今までの状態では長すぎるという印象なのですけど、今度は元町は短かいと思うんです。商業政策とか商業面のことは、専門的にはいえませんけれど、まず魅力を出してほしいですね。何か独自のものを！

★元町の個性を生かす魅力ある
プロムナードの再現を！

新谷　以前には、元町がいわゆる散策路、一つのプロムナード的存在だった。そういうイメージを大事にしているんですけど、今はそれがないために、ただ商品を見て歩くだけです。戦前はパイプをくわえてブラブラ歩いたり(笑)したものです。日本の今までのショッピングセンターの中で、憩いの場をかねたようなプロムナード的要素をもったものは少ないですから、まずこれを実現していただきたい。散策路としての魅力を出してほしいですね。ウィンドーももっと立体的で個性的なものであってほしいですね。できれば、神戸は雨の日は少ないわけですから、青天井でいい気分でショッピングできるなんていうのは最高じゃないですか。雨が降ると、また情緒があって…。そうなると歩道が生きてくるわけですから、モザイク風の上手な、いい道路にして、ズーッと飾っていき、ところどころにフラワーベッドをつくってもいいわけだし、移動用のシャレたデザインの花壇にするとか、あるいは水槽に魚を入れてもいいじゃないですか。水族館をみているような調子でいくというのでも。

水谷　これからの建築のデザインの中で、一番大きなきめ手となるのは床なんですね。ウィンドーの方は、商品の個性があるのできれいにかざりつければ、ある程度のレベルのものになるのですが、これからは床のいいのをつくらなければいけないと思いますね。

新谷　道路が広くなったのも、それなりに生かせばいい。真ン中にグリーンベルト、花壇をつくってズーッと三越まで。一丁目、二丁目の各区ぎりは十字路の広場ができるわけで、そこに丸い花壇をつくって、まん中に噴水をあしらうというのを提案したいですね。楽しみながらショッピングをする。買物がなくても、人がどんどん散歩にくるという場所になってほしい。そういう慰安の場とか、休息の場がほしいですね。ストックホルムのショッピングセンターなんか、すぐにちょっとした広場があり、テーブルやイスがおいてあって花がいっぱい生けてある。疲れたら、ちょっと休んで、前にあるソーセージ屋でソーセージでも、つまもうかといった具合です(笑)。オスローでも、商店街の真ン中に人工池があって花壇やベンチも並んで、ちょうど小公園のようですね。これからの元町もそういう風であってほしい。今からでもおそくはないですよ。

★サロン風の喫茶店や
ウィンドーを使った展示会

水谷　今の元町の商店街の中で一番欠けているのは、食べ物ですね。いい喫茶店とかレストランがないのがさびしいですね。

美田　なくなってしまったんですね。以前のが。

水谷　いい飲食店や喫茶店のないところは、やはり楽しくない。その意味でも元町を少しでもよくしようと思ったら、今すぐ転業するわけにもいきませんけど（笑）、二階にでも少しゆったりした喫茶店を、地下街の喫茶店のようなうるさいのでなく、少しゆったりした明るい喫茶店をつくっていく必要があると思います。それだけでもだいぶちがいますよ。

新谷　一、二カ所どこかに、歩道をテラス代りに使って、歩道でお茶を飲むようなところがあると楽しいですね。

安達　もうちょっと広いと、花壇の上にそういうのをつくってコーヒーでも。何だったら自動販売機でもいい、そんな案もでてます

鳥越　日本では人が多すぎて、ドイツやフランスのようなゆったりしたムードはなかなか出せない

新谷　ぼくがストックホルムにいった時、ちょうどウィンドーに全部彫刻があるんです。そういう彫刻を使ったディスプレイという一つの課題で商店が競っているわけです。「ああ、やってるわい」と思ったのは、七、八年前、私が元町で彫刻の展覧会をしたことがあるんです。各店のウィンドーを提供していただいて、やりましたが、30点ぐらい並べて大変好評でした。

美田　その催しがきっかけで、その後、菊花展もやりました。

新谷　写真展をしませんかともいっていたのですが……そういうことをしょっちゅうやっていくと、元町の一つのイメージができて…。

水谷　それはいいアイディアですね。そういう実験やいい意味のマネはどんどんやっていったらいい。例えば町の真ン中で世界のショッピングセンターというのをテーマに写真の展覧会を一年間やってみる。今月はロッテルダムのレインバーンとか。そのようにディスプレイすれば、お客さんにも元町の将来のイメージはどうかと注目してもらえる。元町の人自身にも、ブレーンストーミングをするきっかけになる。何か道巾が一米、二米とかでケンカばかりしているというのでは……（笑）

★元町に動く歩道と屋上パーキングを早急に

新谷　それから、これはセンセーショナルな意見ですけど、歩道を動くようにベルトコンベアで床を流すんです。立話をしながら向こうに行ける。やればできないことはないと思う。画期的な商店街ができますよ。歩き疲れた時に、スッと乗ればいいわけでしょ。一段高くするとかしてそれがずっと動いていく、きれいですし、必要になりますよ

安達　それに駐車場の問題ですね。これは何とか早くつくりたい。明日の売り上げに結びつくことですから、切実です（笑）

水谷　土地の問題もありますから、パーキングタウンでもいい。元町の場合なんか、ブラブラしてもらうとなると長時間おいてもらった方がいいわけで、例えば一時間までは有料、二時間以上はタダにするとか（笑）

鳥越　これからショッピングするお客さんの半数以上は、車をもっている人だと思うんです。車のパークを何とか確保しなければ。

足立　我々、元町の二世連中はやはり過去の栄華を憧れていますから、自動車をどんどん中に入れてほしいという意見をたくさんもっていますね。

米花　しかし、元町通りの駐車というのは反対ですね。元町というのは落ちついた買物でしょ、人間が安心しておれるような、ベデスシャン・プリンシプル、それを何とか徹底的にやっていく必要がありますね。

新谷　屋上を使えば何でもないと思いますよ。商店街を改造して立体的な高層建築にするという提案も聞いていますが、そこまで計画するんだったら、アーケードの

上なんか、あそこを全部駐車場にして、各丁目の区切りからエレベーターでスーッと車を屋上にあげて停めさせればいい、これはすばらしいですよ。センター街にしてもいたるところに駐車場を確保できるという便利さが、一つの繁栄策と結びついているわけで、元町も早急にそうする必要があります

★ユニークな専門店として生きる元町に！

安達　さきほど先生方が、商店街に車は全然通らないのがいいといわれましたけど、横浜の元町は通りへ車を乗り入れてショッピングさせている。交通の便、地の利が非常に悪いにもかかわらず戦後一番栄えた町として、商店ガイドにものっています。

美田　ちょうど、昔の神戸の元町のようですね。

安達　非常に均等化していて、ものすごい建物やいいデザインのものばかりですね。車で横づけにして、いわゆる歩行者ショッピングを、車で除行してやっているのです。

水谷　その街のよさを一番わかりやすく伝えるのは、やはり個々のお店のレベルの高さだと思うのです。お店の御主人は、自分達の街の豊かなイメージを育てていく専門家でなければならない。

美田　どういう客をつかまえるかというイメージが統一されているわけですよ。今の神戸の元町は全然バラバラなんです。せめて七割位でも、そういう方針をとりあげるようになれば、どういう客にしろ、一つの層をねらうようになれば……。

米花　やはり共通のお客さんをつかまえるという経営方針をはっきりさせることですね。

大上　今までの調査からみますと、元町の場合は、人間的にも経済的にも、また年令的にも成長した人がきているんです。三十六、七才から上になってるんです。人格や品格それに扱う商品も高級なものが多いです。

近藤　私の店を、今度改造したのですが、最近客の層がコロッと変って、すごく若い人が入ってくるんです。結局、元町は場所が悪いからというのではなく、よそにない店という目的をもってやれば、お客さんは充分ひっぱれます。

鳥越　さんちかやセンター街ができても、元町の売上げにはかなわない。やはり元町を目ざしてやってくる客は今後も決して減らないと思います。ただ過去の元町に対するイメージをもってやってくるお客さんが多いので、そのイメージが失われないうちに、何とか手を打たなければなりませんネ。

新谷　神戸らしい市民の生活のなかから生まれた元町という個性的な街づくりをぜひやっていただきたいですネ。

MOTOMACHI NEWS

★元町商店街の花壇実験

さる四月一日から三日までの三日間、生田区元町商店街の道路では行きかう人々の目を楽しませる花壇がお目見えした。この花壇は幅一m、長さ約五mという小さなものだが、同商店街連合会（大上福太郎会長）が昨年暮れから計画していた『花壇の道で楽しいショッピングを……』というもので、花壇にはッッジ、菊ユリ、パンジー、デージーなどかわいい色とりどりの花が植えられ元町二、三丁目の六カ所に設けられたが同連合会は三日まで買物客にアンケートを求めて、その結果、評判がよければ一～六丁目の全商店街に花壇をつくって神戸の新名所にしたい、という全国でもはじめての新らしい試み。

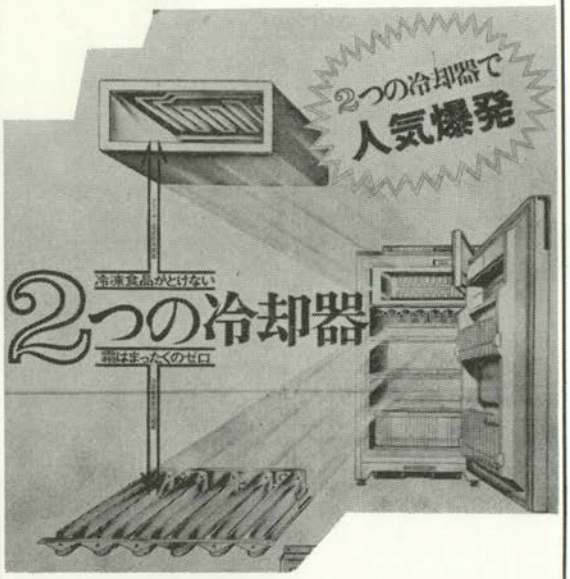
元町通りに設置されたフラワーロード

★元町二丁目がビル商店街に

完成間近かな元町六丁目ビルについで、二丁目でも防災害区のビル建設計画が進んでいる。元町防災建築街区造成組合結成準備会を結成し、今秋10月には着工し、約一年後には完成の予定。今のところ、構想としては地下一階地上三階建て、また七階建てビルも計画しており、住宅、従業員の寮となる。屋上の一部には約百台収容可能の駐車場もできる。総事業費約五億円。来春には、阪神元町駅ビル南に地下街が誕生し〝元町飲食店街〟となる。将来は元町通大丸神戸店、国鉄元町駅の相互間を地下街で結ぶ計画もある。

1・2・0冷凍東芝冷蔵庫
1台の冷蔵庫に2つの冷却器
しかも霜はまったくのゼロ

東芝



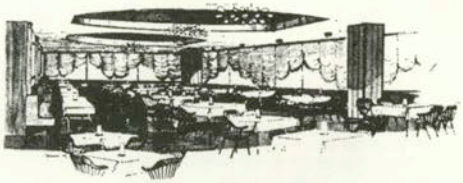
冷凍時代の
理想の設計 理想のサイズ
GR-120SY〈3～5人用〉
現金正価 61,200円
月賦定価 67,000円

あらゆる電化製品の店
元町家庭電器販売KK
元町6丁目 TEL(35)0081〈代表〉・4

港の見えるレストラン コラル キタノ
KC
KITANO CLUB
Restaurant
CORAL KITANO
北野町 Tel. 23—2251

ヨーロッパ伝統の味とサービス

北野クラブのジュニア・レストラン〝ブラン ドウ ブラン〟が京町筋神栄ビル7階に開店いたしました。
神戸っ子のみなさまに愛され、また神戸っ子が誇りを持って、お客さまをご招待していただけるようにつとめております。



RESTAURANT
Blanc de Blanc
ブ ラ ン ド ウ ブ ラ ン
Tel. 32—1455
京町77— 1

グループでスコール！　神戸大学学生グループ

今年も屋上ビヤガーデンを始めました！

五月の初め、ぼくたちは六甲山森林植物園に、新入生歓迎の合同ハイキングにいった。すき透った青空の下で、緑の自然に包まれ、爽快な一日だった。その帰途、仲間たちとスカイサントリー、屋上ビヤガーデンに行く。サントリービールでスコール！〝まさに青年の味だ〟。神戸の夜景を前にして、ハニー・ロータスの奏でる甘いハワイアンをききながら飲むビールの味は格別。ほどよく酔のまわった頬に夜風が快よい。新入生諸君も、すっかりぼくたちの雰囲気に溶けこんこんだようだ。気分は上々。

〝若い人でも気軽く来れる〟そんなフレッシュな雰囲気が大好きだ。

<神戸大学第二課程　黒木経治>

飲みほうだい〈サントリービール〉＋食べほうだい！〈北欧風ヴァイキング料理〉　1,000円〈飲食税 100円別〉

なごやかな
ムード
すばらしい
眺望！

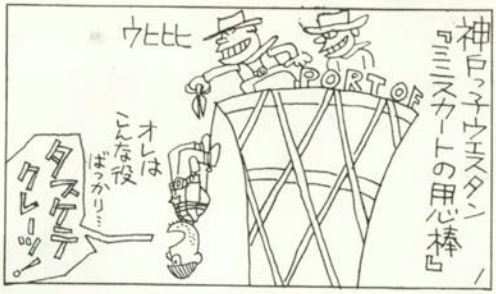
ビヤ レストラン
スカイサントリー

三宮交通センタービル9階　TEL ㊴ 3705～6

ベンコ 16

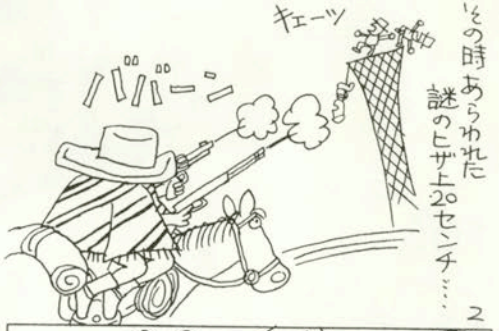
永井文明

神戸っ子ウエスタン
『ミニスカートの用心棒』



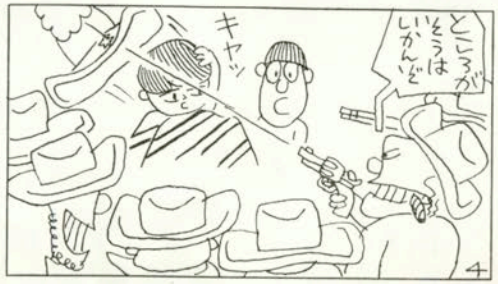
1

その時あらわれた
謎のヒザ上20センチ…



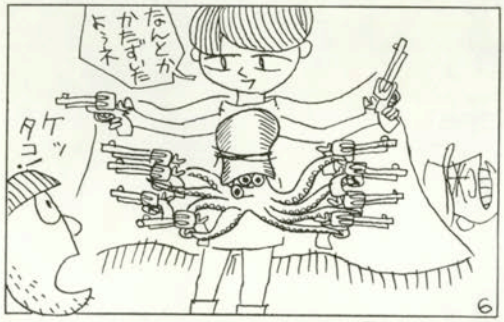
2

3



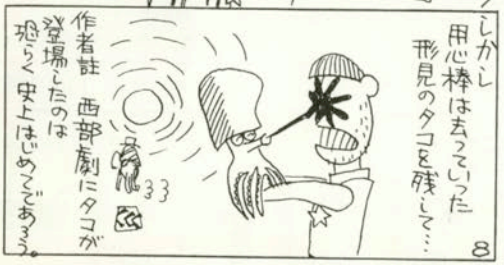
4

5



6

7

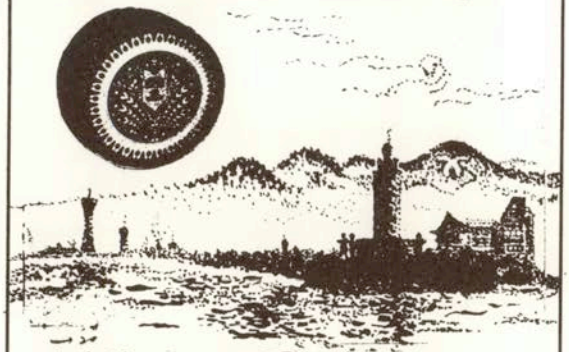


8

品質のよい皮
あきのこないデザイン
きたえた技術がさえる
ヨシオカの靴

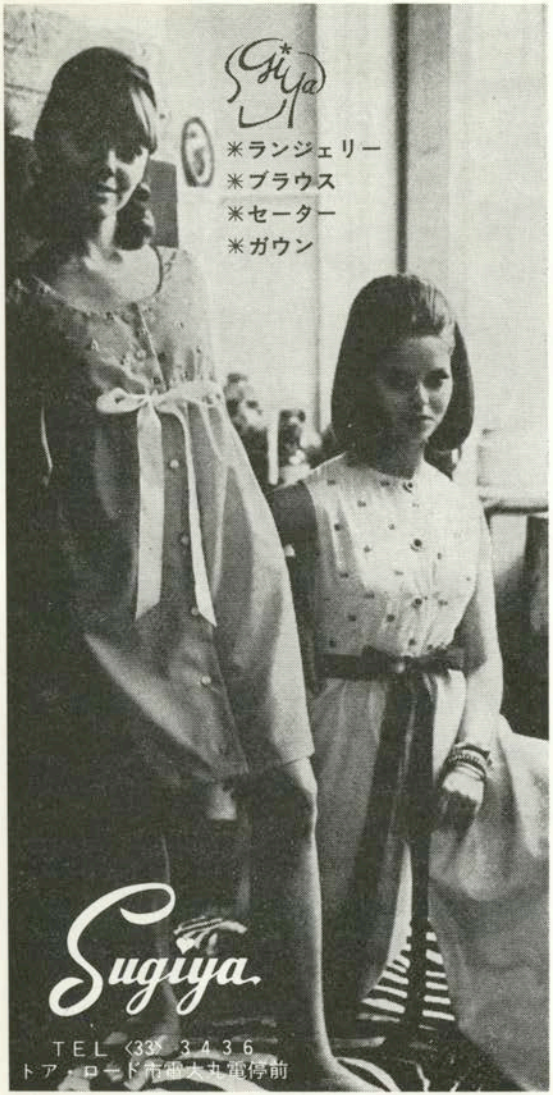
★靴のオーダーメード
ヨシオカ
神戸大丸前・33−5190
33−9763

エキゾチックな街
神戸の生んだ
キャンデーの最高峰
アーモンドロッキー



地中海のアーモンドと
新鮮な生クリームの
味のデュエット——

チョコレート＊キャンデー
ゴンチャロフ
直売店　神戸市生田区加納町4の1
さんちかスイーツタウン・大丸
そごう・三越・阪急・各百貨店



伸びゆく **菊水總本店**
瓦せんべい

創業明治元年

株式会社
菊水總本店
TEL (35) **1801** (代)